



栗田工業株式会社

2025年3月期 第2四半期
決算説明会

(証券コード：6370)

2024年11月8日

-
- 1** | 2025年3月期 上期実績 P 1- 8
 - 2** | 2025年3月期 通期業績予想の修正 P 9-16
 - 3** | 中期経営計画「Pioneering Shared Value 2027(PSV-27)」の進捗 p17-26

1 | 2025年3月期 上期実績

- 売上高は、為替影響を除くと前年同期比で減収だが、電子、一般水処理ともに原価率改善が進み、事業利益はオーガニックで増益。
- 上期予想に対し、事業利益、事業利益率ともに上回って進捗。

(単位：億円)		2024/3期 上期実績	2025/3期 上期実績	前年同期比	上期予想(5/9発表)
受	注 高	1,864	2,122	+ 13.9%	2,120
売	上 高	1,884	1,955	+ 3.8%	1,940
事	業 利 益	181	212	+ 17.5%	200
そ	の 他 の 収 支	+ 2	+ 3	-	△ 5
営	業 利 益	183	215	+ 17.5%	195
税	引 前 中 間 利 益	182	214	+ 17.7%	192
親会社の所有者に帰属する中間利益		126	149	+ 18.6%	135
基本的1株当たり中間利益（円）		112.05	132.83	+ 18.6%	120.13
為 替 レ ー ト	USD（円）	141.0	152.6		142.0
	EUR（円）	153.4	166.0		154.0
	CNY（円）	19.8	21.2		19.8

- 前期の第2四半期からアルカデ・エンジニアリング社を新規連結（一般水処理セグメントで計上）。

セグメント別業績

(単位：億円)		2024/3期 上期実績	2025/3期 上期実績	前年同期比	上期予想 (5/9発表)
全社	受注高	1,864	2,122	+ 258	2,120
	売上高	1,884	1,955	+ 72	1,940
	事業利益	181	212	+ 32	200
	事業利益率	9.6%	10.9%	+ 1.3pp	10.3%
	営業利益	183	215	+ 32	195
電子	受注高	788	956	+ 168	860
	売上高	876	873	△ 3	850
	事業利益	91	111	+ 20	98
	事業利益率	10.4%	12.8%	+ 2.3pp	11.5%
	営業利益	94	109	+ 15	98
一般水処理	受注高	1,076	1,166	+ 90	1,260
	売上高	1,008	1,082	+ 74	1,090
	事業利益	89	101	+ 12	102
	事業利益率	8.9%	9.3%	+ 0.5pp	9.4%
	営業利益	89	106	+ 17	97

電子

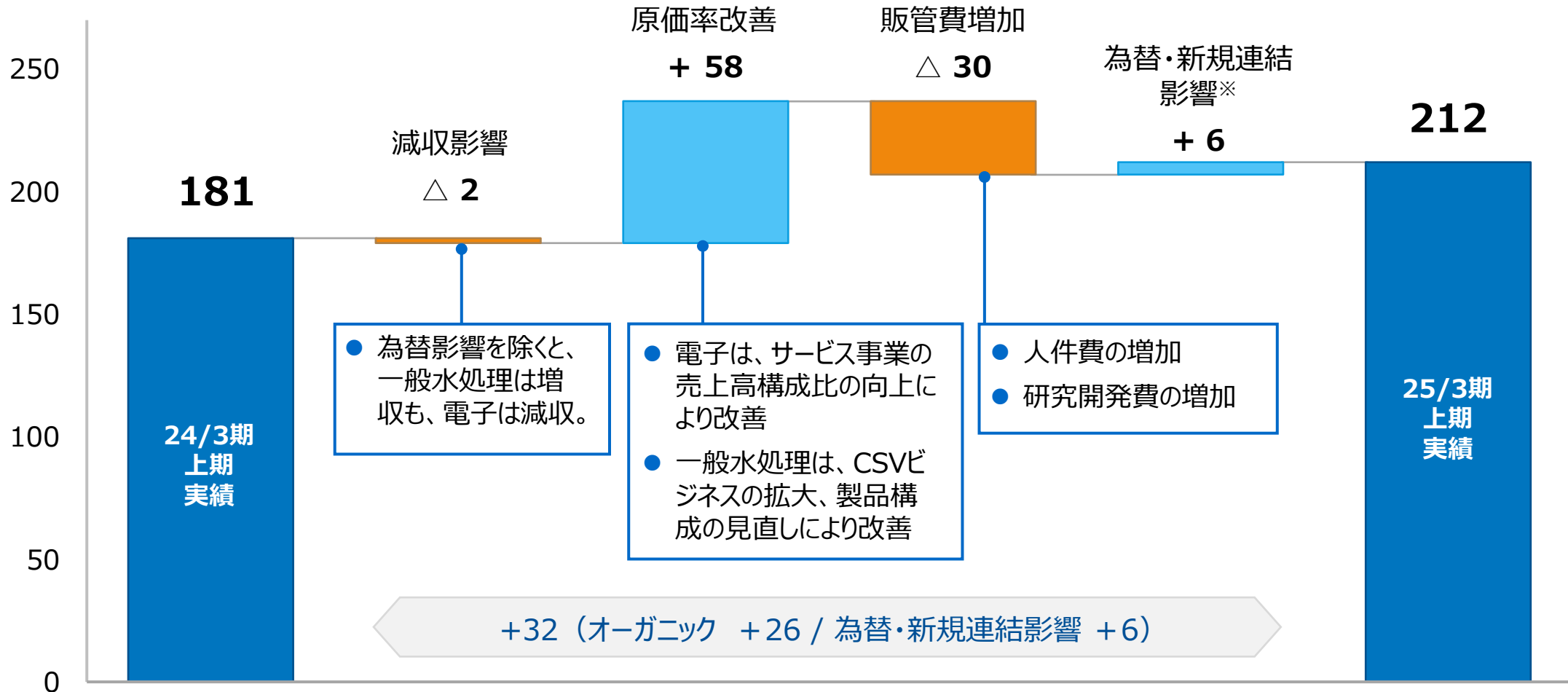
- 受注高は、主に装置や継続契約型サービスで増加。
- 売上高は、継続契約型サービスが増加も、前年同様の国内大型装置案件の売上計上の反動により減収。
- 事業利益は、サービス事業の売上高構成比の向上による原価率改善が、減収影響や販管費増の影響を上回り増益。

一般水処理

- 受注高、売上高は、新規連結影響、為替影響に加え、装置の伸長により増加。
- 事業利益は、増収影響に加え、CSVビジネスの拡大や製品構成の見直し等による原価率改善の効果が、販管費増の影響を上回り増益。

事業利益の増減要因（前年同期比）

(単位：億円)



※ 新規連結影響は、前期の第2四半期からアルカデ・エンジニアリング社を新規連結したことによるもの。

(単位：億円)	2024/3期 上期実績	2025/3期 上期実績	前年同期比	上期予想 (5/9発表)
受注高	788	956	+ 168	860
装置	279	381	+ 102	304
継続契約型サービス	228	256	+ 28	239
サービス	281	319	+ 38	317
薬品	51	61	+ 9	55
精密洗浄	119	146	+ 27	136
メンテナンス	111	112	+ 2	126
売上高	876	873	△ 3	850
装置	388	325	△ 64	332
継続契約型サービス	227	257	+ 30	237
サービス	260	291	+ 31	281
薬品	52	61	+ 9	55
精密洗浄	119	144	+ 25	136
メンテナンス	89	87	△ 2	90

- 装置の受注高は、中国および韓国で増加。売上高は、中国における工事進捗により増加も、日本で前年同期に大型案件の売上計上があった反動で減収。
- 継続契約型サービスは、新たにサービスを開始した案件の寄与により受注高、売上高ともに増加。
- 精密洗浄事業は、為替影響を除いても増収。
- メンテナンスの受注高・売上高は、案件のタイミングによる増減はあるものの想定線で推移。

売上高増減要因

(億円)

オーガニック増減	△ 32
為替影響	+ 29

一般水処理セグメント

(単位：億円)	2024/3期 上期実績	2025/3期 上期実績	前年同期比	上期予想 (5/9発表)
受注高	1,076	1,166	+ 90	1,260
装置	137	183	+ 47	295
継続契約型サービス	49	54	+ 5	50
サービス	890	929	+ 39	915
薬品	582	598	+ 17	619
メンテナンス	260	276	+ 16	254
その他	48	54	+ 6	43
売上高	1,008	1,082	+ 74	1,090
装置	117	151	+ 34	168
継続契約型サービス	51	55	+ 5	53
サービス	840	875	+ 35	868
薬品	581	599	+ 18	617
メンテナンス	221	230	+ 9	212
その他	39	47	+ 8	39

- 装置は、アルカデ・エンジニアリング社の新規連結に加え、北米における官需向け装置案件の獲得および工事進捗により、受注高・売上高ともに増加。
- 継続契約型サービスは、主に日本で増加。
- 薬品は、為替影響を除くと、受注高・売上高ともに海外で減少。
- メンテナンスの受注高・売上高は、主に日本で増加。

売上高増減要因

(億円)

オーガニック増減	+ 26
為替影響	+ 36
新規連結影響	+ 13

地域別売上高・CSVビジネス売上高

地域別売上高（全社連結）

(単位：億円)	2024/3期	2025/3期	前年同期比	上期予想 (5/9発表)
	上期実績	上期実績		
日本	975	922	△ 53	858
アジア	431	482	+ 50	500
北南米	298	354	+ 56	375
EMEA	180	198	+ 18	207
合計	1,884	1,955	+ 72	1,940

地域別売上高（一般水処理セグメント）

(単位：億円)	2024/3期	2025/3期	前年同期比	上期予想 (5/9発表)
	上期実績	上期実績		
日本	501	527	+ 26	486
アジア	112	106	△ 6	120
北南米	220	256	+ 36	278
EMEA	175	193	+ 18	207
合計	1,008	1,082	+ 74	1,090

地域別売上高（電子セグメント）

(単位：億円)	2024/3期	2025/3期	前年同期比	上期予想 (5/9発表)
	上期実績	上期実績		
日本	473	395	△ 79	372
アジア	320	376	+ 56	380
北南米	78	98	+ 20	98
EMEA [※]	5	5	△ 1	-
合計	876	873	△ 3	850

CSVビジネス売上高

(単位：億円)	2024/3期	2025/3期	前年同期比	通期予想 (5/9発表)
	上期実績	上期実績		
全社連結	192	240	+ 49	480
電子	63	69	+ 7	145
一般水処理	129	171	+ 42	335

※ 今期から精密洗浄事業におけるEMEA拠点での売上高実績をEMEAの売上高として計上。なお、上期予想は北南米（98億円）に含まれている。

設備投資額・減価償却費・研究開発費

(単位：億円)	2024/3期	2025/3期	前年同期比	通期予想 (5/9発表)
	上期実績	上期実績		
設備投資額 (有形*)	153	254	+ 101	464
減価償却費 (有形*)	139	149	+ 9	315
研究開発費	36	42	+ 6	75

* 使用権資産含む。

- 設備投資額は、水供給事業、精密洗浄事業における設備投資の増加により、前年同期比で増加。
- 減価償却費は、新しい水供給案件の開始等に伴い前年同期比で増加。
- 研究開発費は、イノベーション創出に向けた取り組み強化により増加。

財政状態

(単位：億円)	2024年3月末	2024年9月末	増減
現金及び現金同等物	540	518	△ 23
営業債権及びその他の債権	1,395	1,304	△ 91
棚卸資産	211	213	+ 3
その他	135	114	△ 21
流動資産合計	2,280	2,148	△ 132
有形固定資産	1,910	2,012	+ 102
のれん	710	678	△ 32
その他	674	640	△ 34
非流動資産合計	3,294	3,330	+ 36
資産合計	5,574	5,478	△ 96
流動負債	1,186	1,100	△ 86
非流動負債	1,054	1,009	△ 45
負債合計	2,240	2,109	△ 131
親会社の所有者に帰属する持分	3,313	3,347	+ 34
非支配持分	22	23	+ 1
資本合計	3,334	3,369	+ 35
負債及び資本合計	5,574	5,478	△ 96

- 流動資産の減少は、主に売上債権、契約資産の減少。
- 有形固定資産は主に水供給事業用設備の取得により増加。
- のれんは、為替影響により減少。
- 流動負債の減少は、主に社債及び借入金の返済による減少。
- 資本合計は、在外営業活動体の換算差額が減少するも、利益剰余金の増加により増加。

2 | 2025年3月期 通期業績予想の修正

通期業績予想の修正

- 上期までの進捗状況と事業環境を踏まえ、受注高・売上高・事業利益ともに期初予想から上方修正。
- 為替レート的前提を、上期実績レートへ置き換え。

(単位：億円)		期初予想 (5/9発表)	2025/3期 通期予想 (11/7発表)	期初予想比	2024/3期 実績
受	注 高	4,000	4,250	+ 250	3,902
売	上 高	4,000	4,100	+ 100	3,848
事	業 利 益	470	500	+ 30	421
そ	の 他 の 収 支	△ 10	△ 3	+ 7	△ 8
営	業 利 益	460	497	+ 37	412
税	引 前 当 期 利 益	450	490	+ 40	417
親会社の所有者に帰属する当期利益		330	345	+ 15	292
1株当たり当期利益(円)		293.65	306.81	+ 13.16	259.70
親会社所有者帰属持分当期利益率(ROE)		9.7%	10.1%	+ 0.4pp	9.3%
投下資本利益率(ROIC)		7.9%	8.0%	+ 0.1pp	7.2%
為替レート	USD(円)	142.0	152.6	-	144.6
	EUR(円)	154.0	166.0	-	156.8
	CNY(円)	19.8	21.2	-	20.1

セグメント別の業績予想

(単位：億円)		期初予想 (5/9発表)	2025/3期 通期予想 (11/7発表)	期初予想比	2024/3期 実績
全社	受注高	4,000	4,250	+ 250	3,902
	売上高	4,000	4,100	+ 100	3,848
	事業利益	470	500	+ 30	421
	事業利益率	11.8%	12.2%	+ 0.4pp	10.9%
	営業利益	460	497	+ 37	412
電子	受注高	1,700	1,950	+ 250	1,658
	売上高	1,690	1,790	+ 100	1,727
	事業利益	210	240	+ 30	199
	事業利益率	12.4%	13.4%	+ 1.0pp	11.5%
	営業利益	210	233	+ 23	202
一般水処理	受注高	2,300	2,300	-	2,243
	売上高	2,310	2,310	-	2,121
	事業利益	260	260	-	221
	事業利益率	11.3%	11.3%	-	10.4%
	営業利益	250	264	+ 14	210

電子

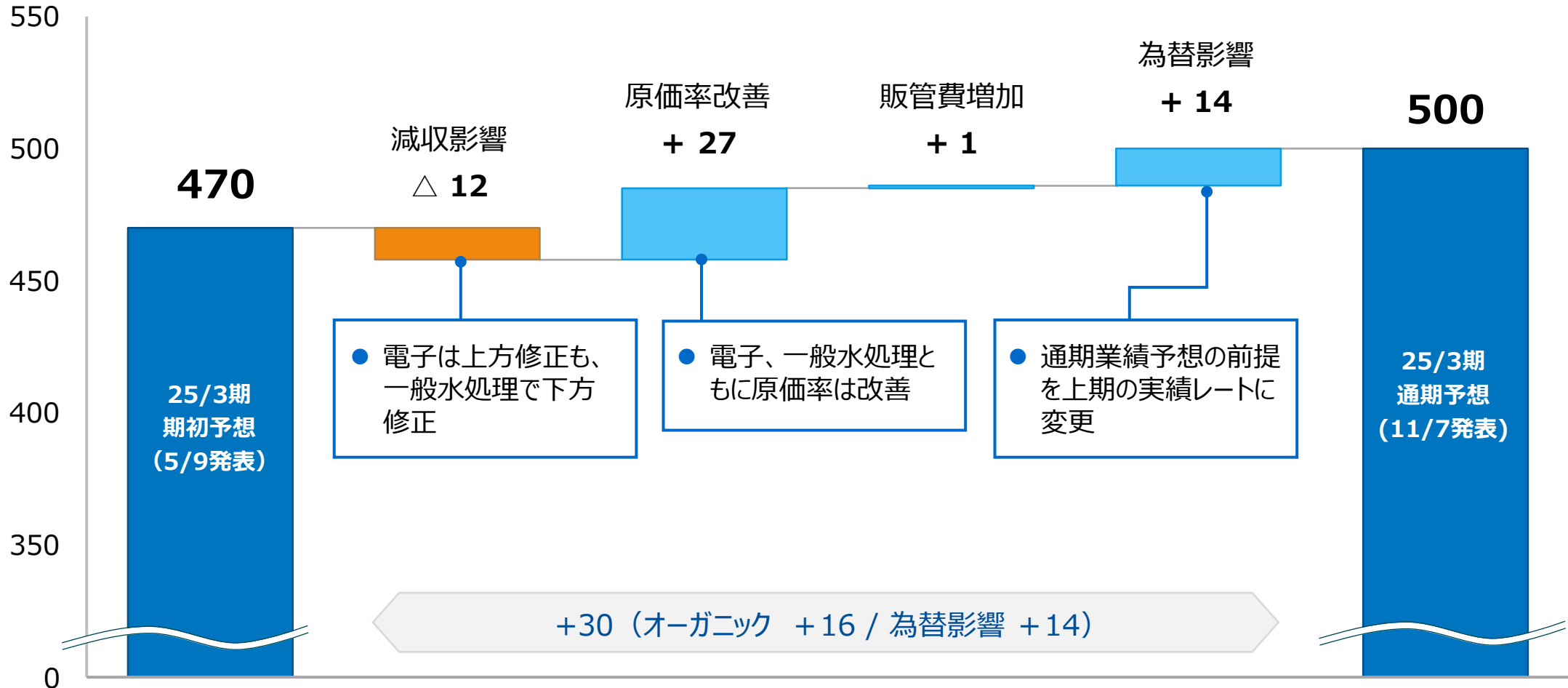
- 装置の受注状況や継続契約型サービスにおける一過性の収益計上を反映し、受注高、売上高を上方修正。
- 事業利益は、増収効果、継続契約型サービスの増収に伴う原価率改善により上方修正。

一般水処理

- 為替レートの見直しによるプラス効果を見込むも、海外の薬品事業の進捗を踏まえ、受注高、売上高、事業利益ともに期初予想を据え置く。

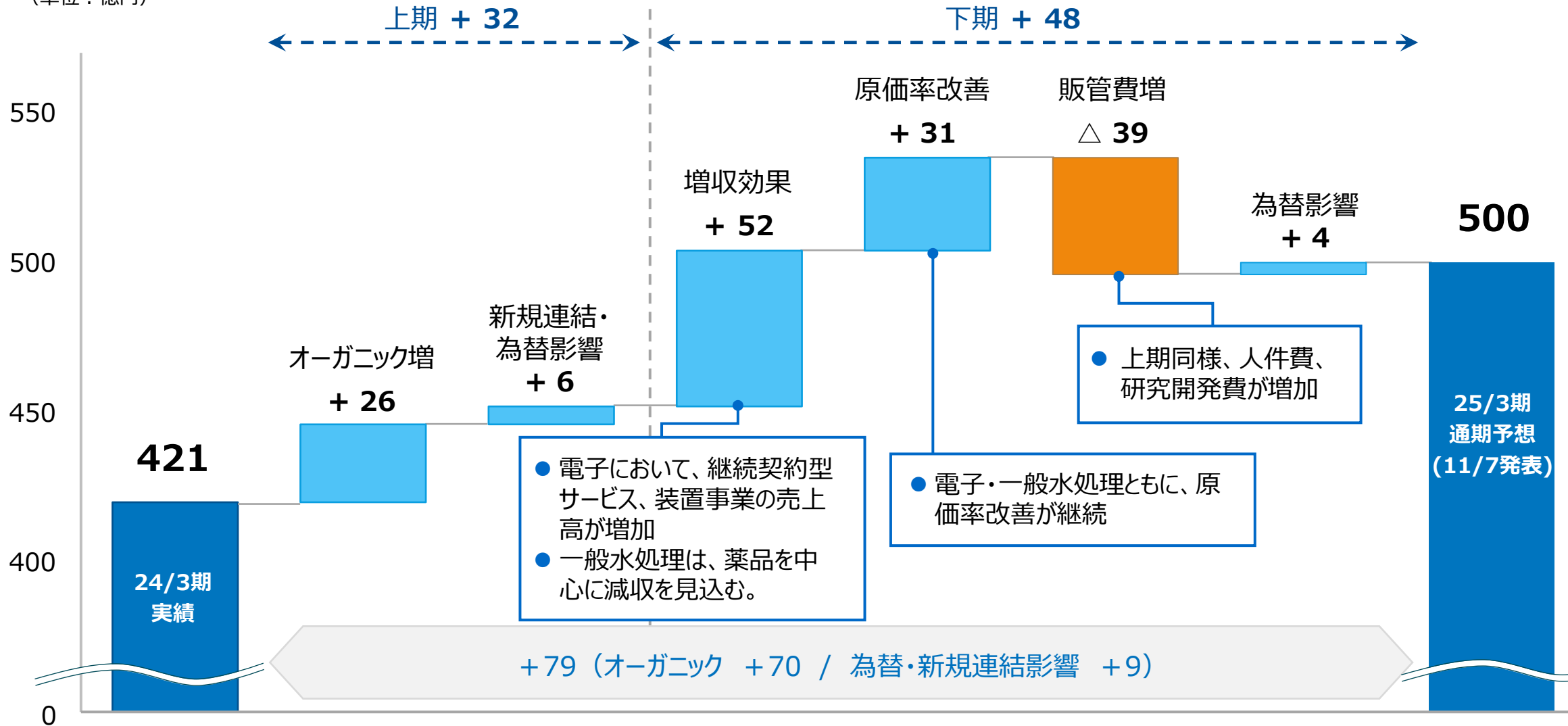
事業利益の増減要因 (期初予想比)

(単位：億円)



事業利益の増減要因 (前期比)

(単位：億円)



(単位：億円)	期初予想 (5/9発表)	2025/3期 通期予想 (11/7発表)	期初予想比	2024/3期 実績
受注高	1,700	1,950	+ 250	1,658
装置	584	788	+ 204	626
継続契約型サービス	494	541	+ 47	466
サービス	622	621	△ 2	566
薬品	109	118	+ 9	104
精密洗浄	301	287	△ 14	249
メンテナンス	213	216	+ 3	212
売上高	1,690	1,790	+ 100	1,727
装置	584	647	+ 63	703
継続契約型サービス	494	538	+ 44	466
サービス	612	605	△ 7	558
薬品	110	118	+ 8	104
精密洗浄	301	281	△ 19	250
メンテナンス	202	206	+ 4	203

- 装置の受注高は、日本、中国、韓国における設備投資活況を背景に上方修正。売上高も、中国、韓国の工事進捗を踏まえ上方修正。
- 継続契約型サービスの売上高は、一過性の収益計上やお客様の工場稼働状況を踏まえ上方修正。
- 精密洗浄事業は、足元におけるお客様の工場稼働状況の影響を踏まえ下方修正。

売上高増減要因

(億円)

オーガニック増減	+ 45
為替影響	+ 55

一般水処理セグメント

(単位：億円)	期初予想 (5/9発表)	2025/3期 通期予想 (11/7発表)	期初予想比	2024/3期 実績
受注高	2,300	2,300	-	2,243
装置	430	427	△ 2	419
継続契約型サービス	114	121	+ 7	104
サービス	1,756	1,751	△ 4	1,721
薬品	1,223	1,190	△ 32	1,166
メンテナンス	447	473	+ 26	466
その他	86	88	+ 1	89
売上高	2,310	2,310	-	2,121
装置	415	419	+ 4	298
継続契約型サービス	119	121	+ 2	102
サービス	1,776	1,769	△ 7	1,721
薬品	1,223	1,207	△ 16	1,166
メンテナンス	467	480	+ 13	458
その他	86	83	△ 4	97

- 薬品は、海外における上期までの進捗を踏まえ、受注高・売上高ともに下方修正。
- メンテナンスは、日本の上期における受注高、売上高の増加を踏まえ、いずれも上方修正。

売上高増減要因

(億円)

オーガニック増減	△ 78
為替影響	+ 78

地域別売上高・CSVビジネス売上高



地域別売上高（全社連結）

(単位：億円)	期初予想 (5/9発表)	2025/3期 通期予想 (11/7発表)	期初予想比	2024/3期 実績
日本	1,877	1,905	+ 28	1,984
アジア	922	1,005	+ 83	859
北南米	784	780	△ 4	626
EMEA	417	409	△ 7	380
合計	4,000	4,100	+ 100	3,848

地域別売上高（一般水処理セグメント）

(単位：億円)	期初予想 (5/9発表)	2025/3期 通期予想 (11/7発表)	期初予想比	2024/3期 実績
日本	1,091	1,092	+ 0	1,068
アジア	238	234	△ 4	225
北南米	564	584	+ 20	458
EMEA	417	400	△ 17	370
合計	2,310	2,310	-	2,121

地域別売上高（電子セグメント）

(単位：億円)	期初予想 (5/9発表)	2025/3期 通期予想 (11/7発表)	期初予想比	2024/3期 実績
日本	786	813	+ 28	916
アジア	685	772	+ 87	634
北南米	219	196	△ 24	167
EMEA [※]	-	9	+ 9	10
合計	1,690	1,790	+ 100	1,727

CSVビジネス売上高

(単位：億円)	期初予想 (5/9発表)	2025/3期 通期予想 (11/7発表)	期初予想比	2024/3期 実績
全社連結	480	480	-	402
電子	145	135	△ 10	121
一般水処理	335	345	+ 10	281

※ 今期から精密洗浄事業におけるEMEA拠点での売上高実績をEMEAの売上高として計上。
 期初予想では北南米（219億円）に含まれている。

設備投資額・減価償却費・研究開発費

(単位：億円)	期初予想 (5/9発表)	2025/3期 通期予想 (11/7発表)	期初予想比	2024/3期 実績
設備投資額（有形※）	464	464	—	389
減価償却費（有形※）	315	315	—	283
研究開発費	75	75	—	74

* 使用権資産含む。

- 設備投資額、減価償却費、研究開発費は、ともに期初予想を据え置く。

3 | 中期経営計画「Pioneering Shared Value 2027(PSV-27)」の進捗

PSV-27とマテリアリティ (Value Pioneering Path)

2030年の目指す姿

企業ビジョン 持続可能な社会の実現に貢献する『水の新たな価値』の開拓者

中期経営計画 PSV-27

財務指標*1		主要な非財務指標*1	
売上高	4,500億円	CSVビジネスによる 節水貢献量	300百万㎡
売上高事業利益率	16%	GHG削減貢献量	1,600千t
ROE	12%以上	資源化貢献量・ 資源投入削減量	300%増*2
ROIC	10%以上		

*1 2028年3月期達成目標 *2 2023年3月期比

価値創造の源泉

クリタグループのマテリアリティ

共通価値テーマ

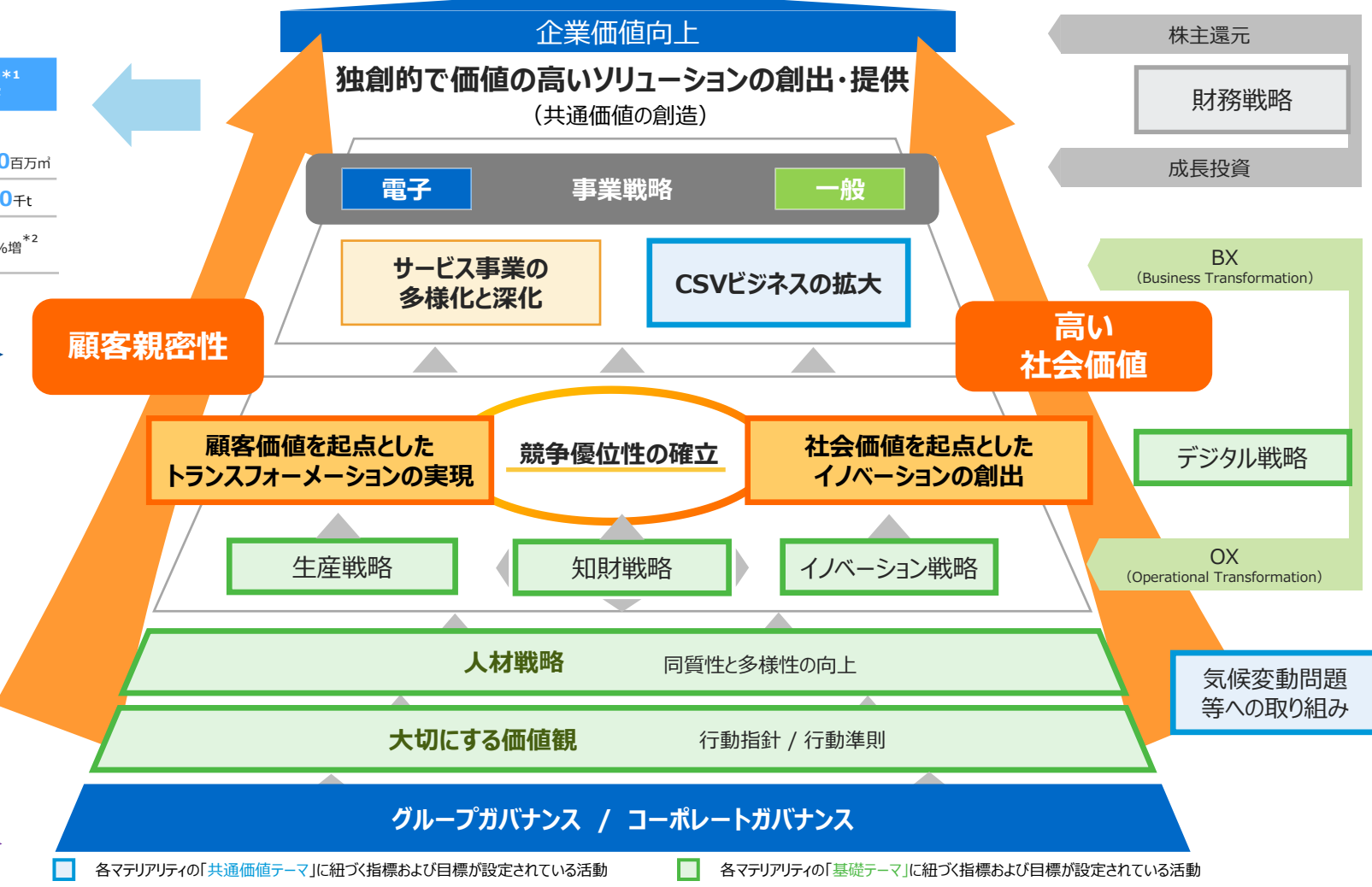
- 水資源の問題解決
- 脱炭素社会実現への貢献
- 循環型経済社会構築への貢献

基礎テーマ

- 革新的な製品・技術・ビジネスモデルの開発と普及
- 戦略的な人材育成と活用
- 高い品質と安全性の製品・サービスの提供
- 人権を尊重した事業活動
- 公正な事業活動

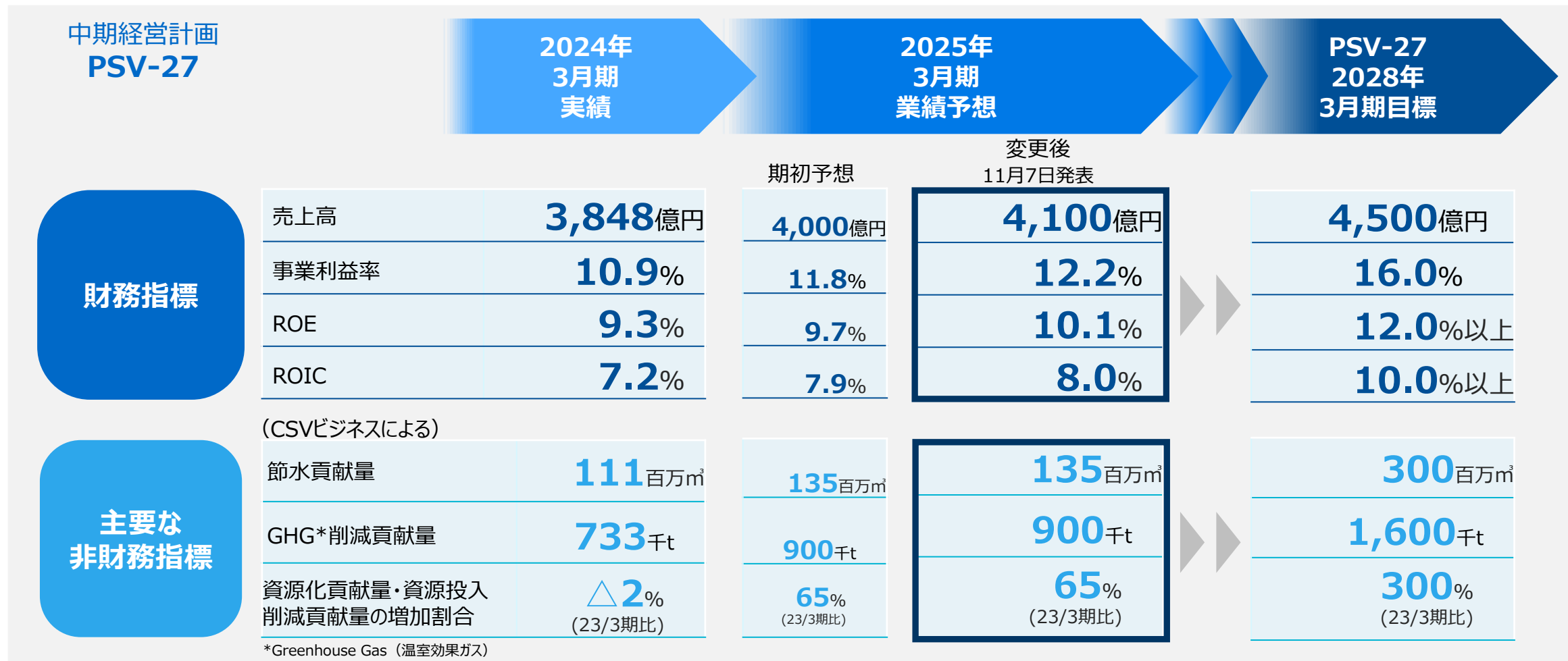
価値の毀損防止

リスク抑制 / 資本コスト低減

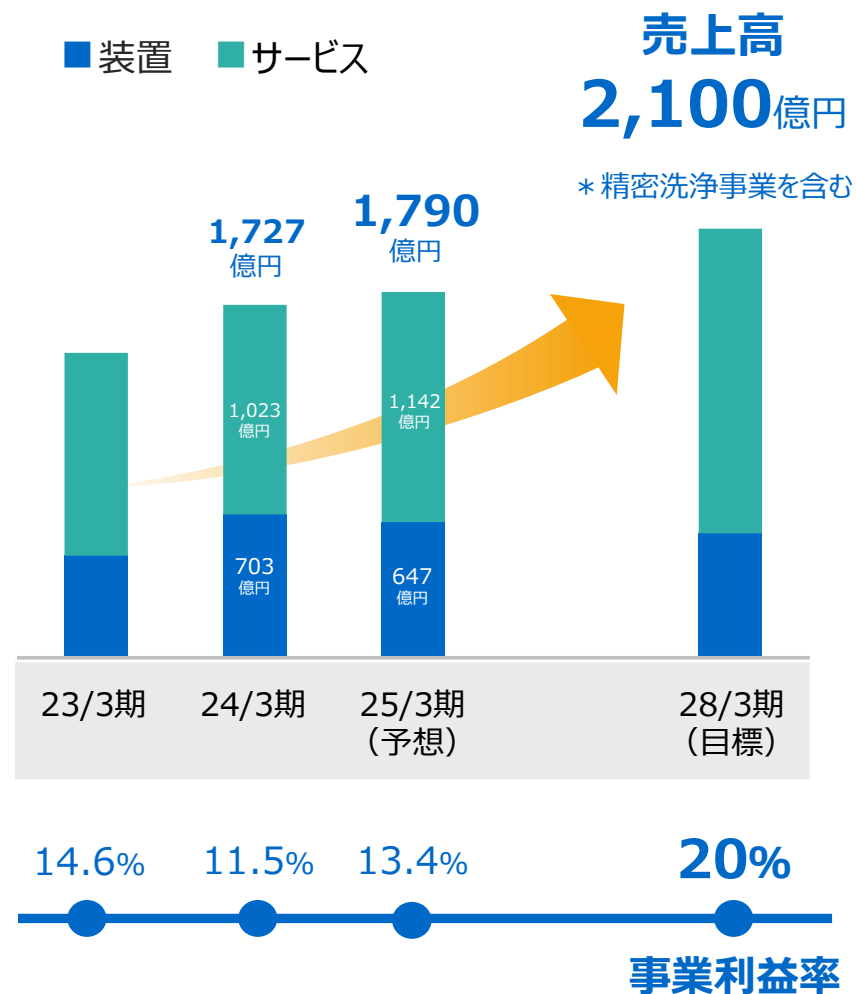
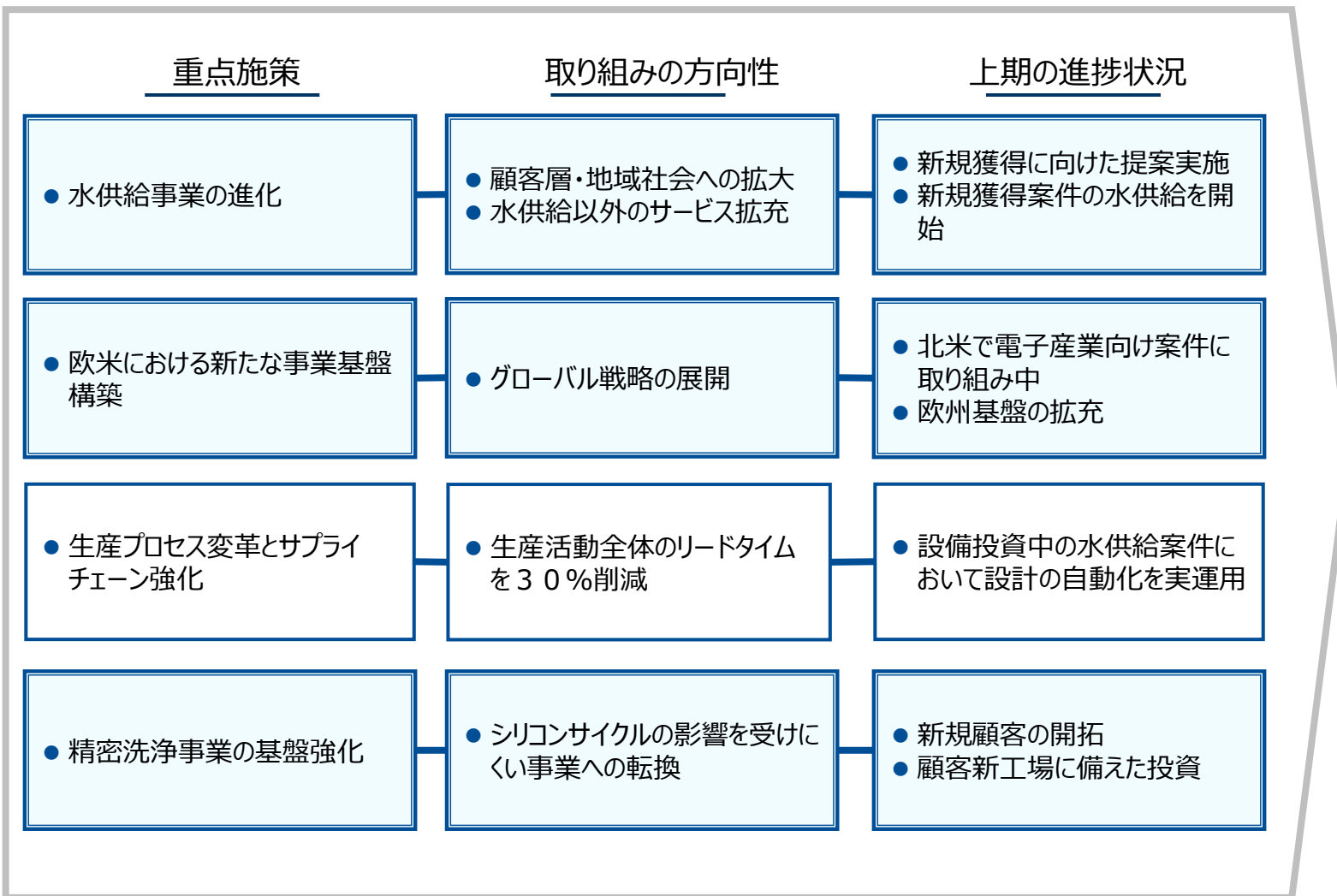


主要経営目標の進捗

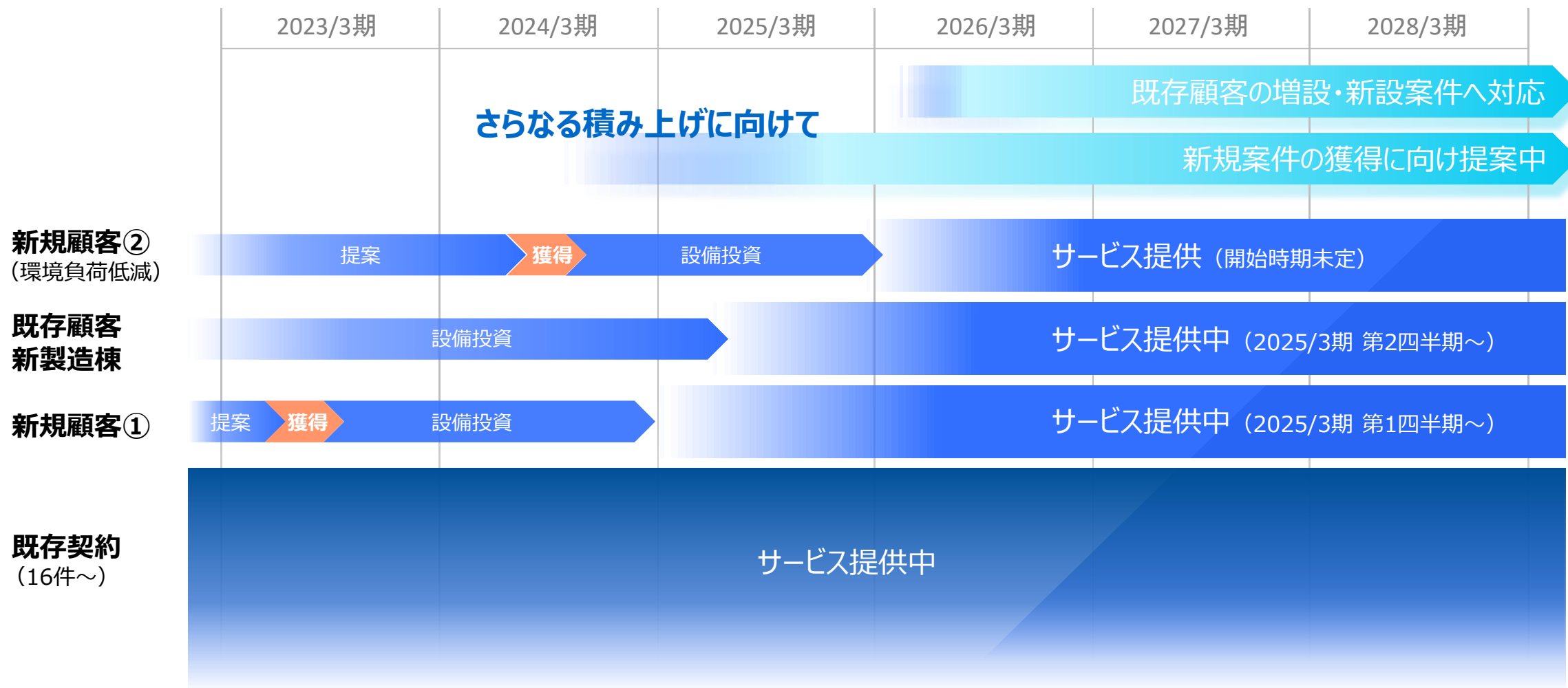
2025年3月期を、事業基盤強化と戦略的成長投資による
今後の成長加速へ道筋をつけるステージと位置づけ、取り組みを推進中



多様なサービスとDXで幅広い顧客との接点をグローバルに獲得



環境負荷低減に寄与する水供給サービスの獲得などによりトップラインを積み上げ

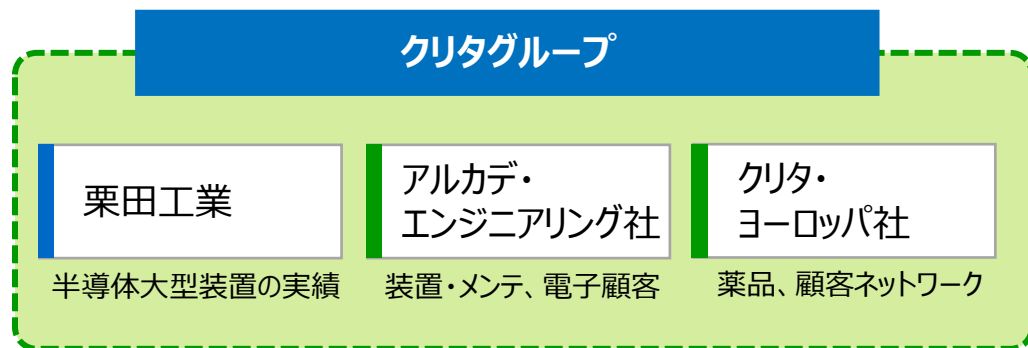


欧米における新たな事業基盤構築

半導体法を背景に事業基盤を整備し、欧米の事業機会に対応

欧州

電子産業向け装置事業の事業基盤を整備し、グループとして大型案件にも対応できる体制を構築

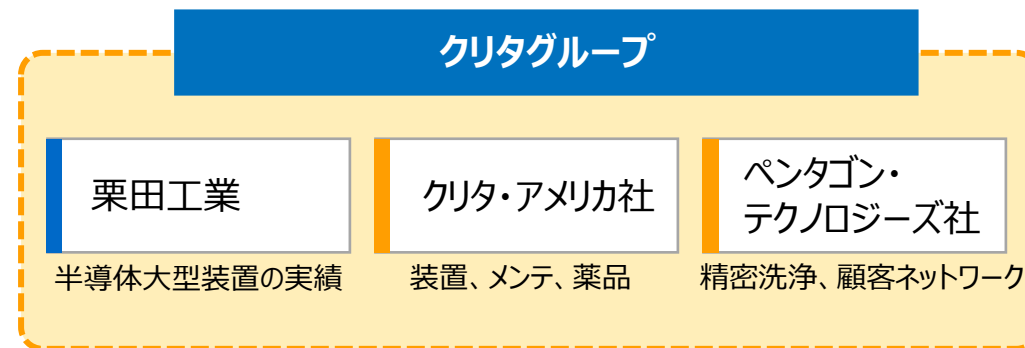


日本からのサポートにより事業基盤を強化

案件獲得に向け顧客へ提案中

北米

既存の事業基盤・グループの資源を活用し半導体産業向け装置事業を立ち上げ



EP+モジュール化*の提案により電子大型装置の第1号案件に取り組み中

メンテナンス・精密洗浄事業などサービス事業を拡大

*EP(Engineering & Procurement)+モジュール化・・・装置の建設を顧客工場内では行わず、完成済みの水処理装置をモジュール化し顧客工場内で組み立てる工法

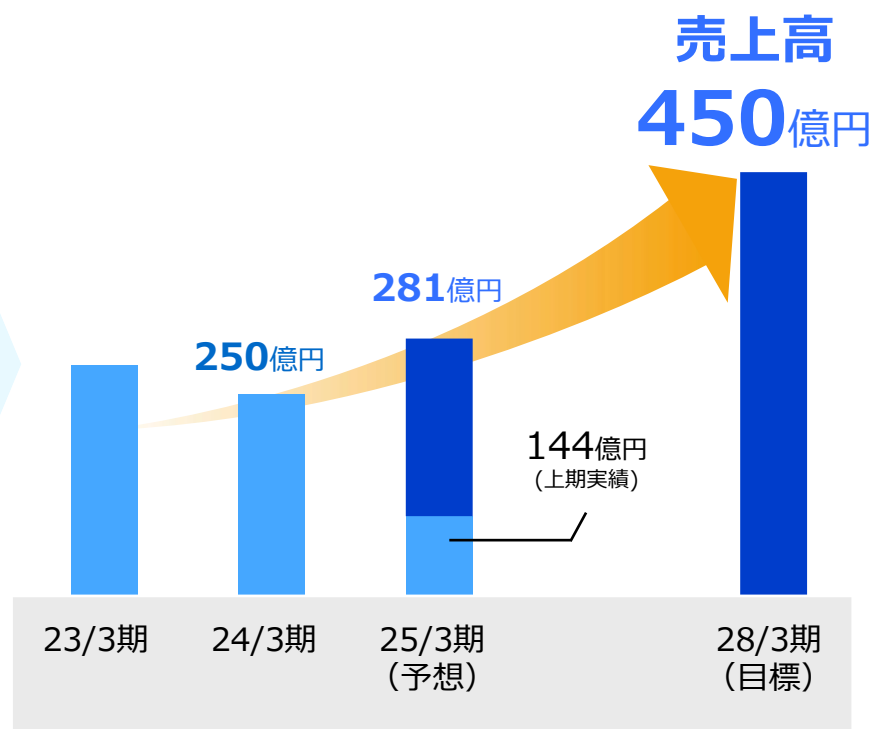
足元に弱さも、半導体市況の本格回復に備えた取り組みが進展

2025/3期
上期までの進捗

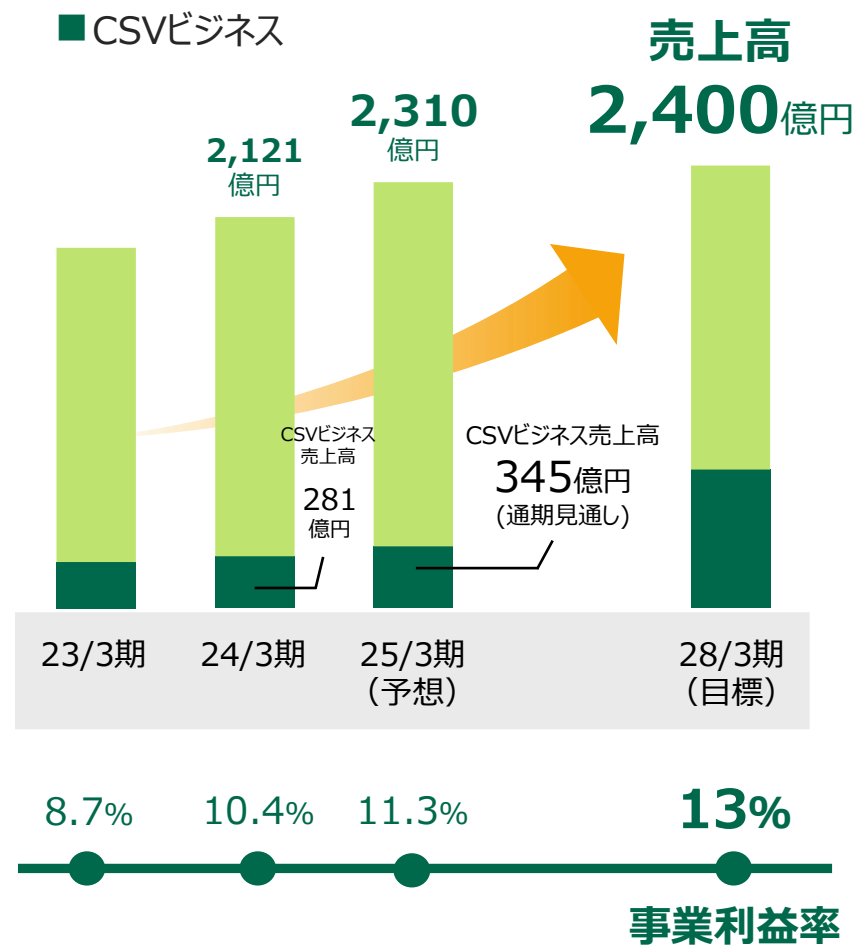
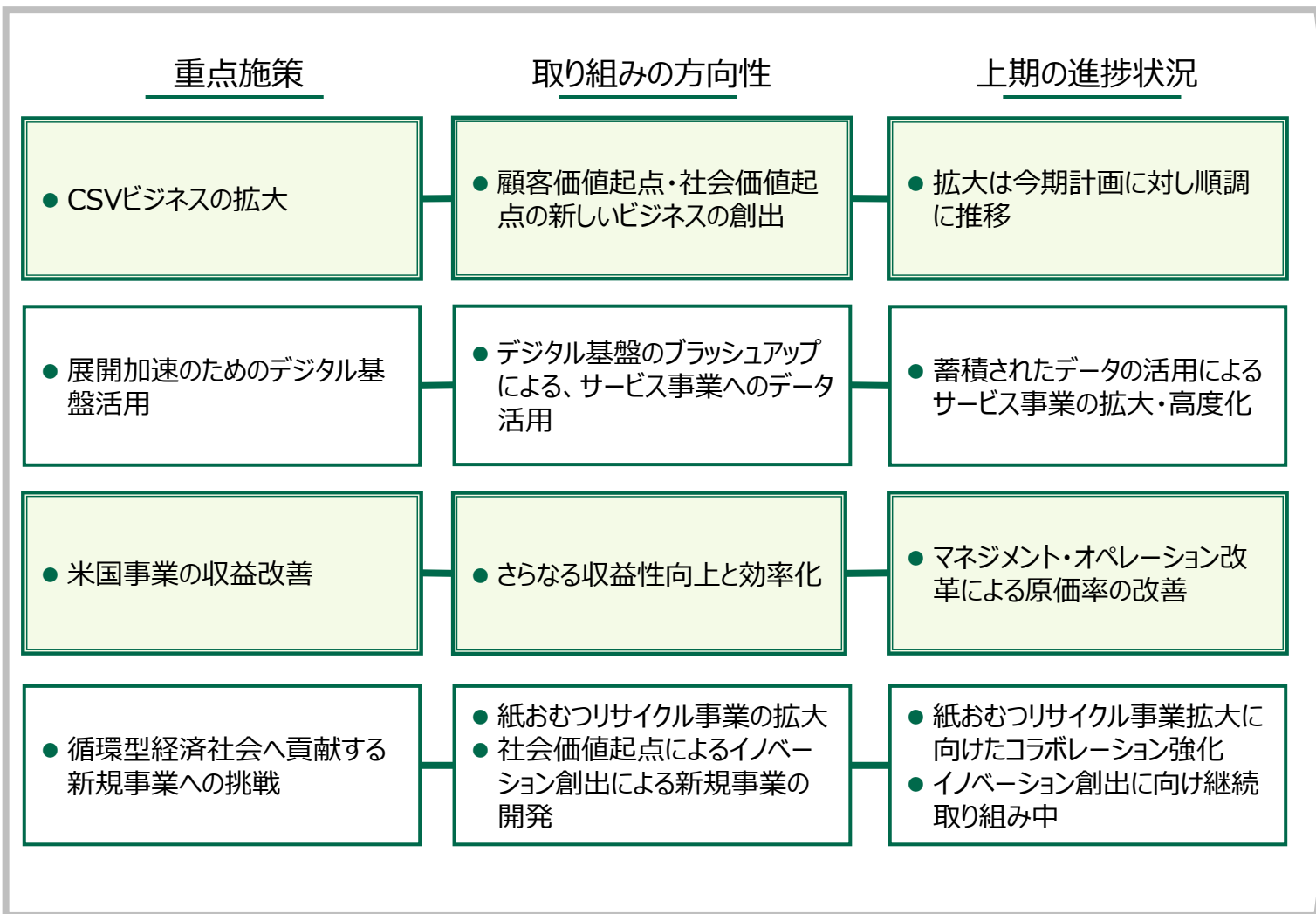
- 洗浄工場の新設・拡大に向けた設備投資が進捗
- その他事業とのシナジーによる新規顧客の獲得
- メーカー認証の新規取得

2028/3期の
目標達成に
向けた課題

- さらなる顧客層の拡大
- 新サービスの上市
- 事業規模拡大に伴うガバナンスの強化

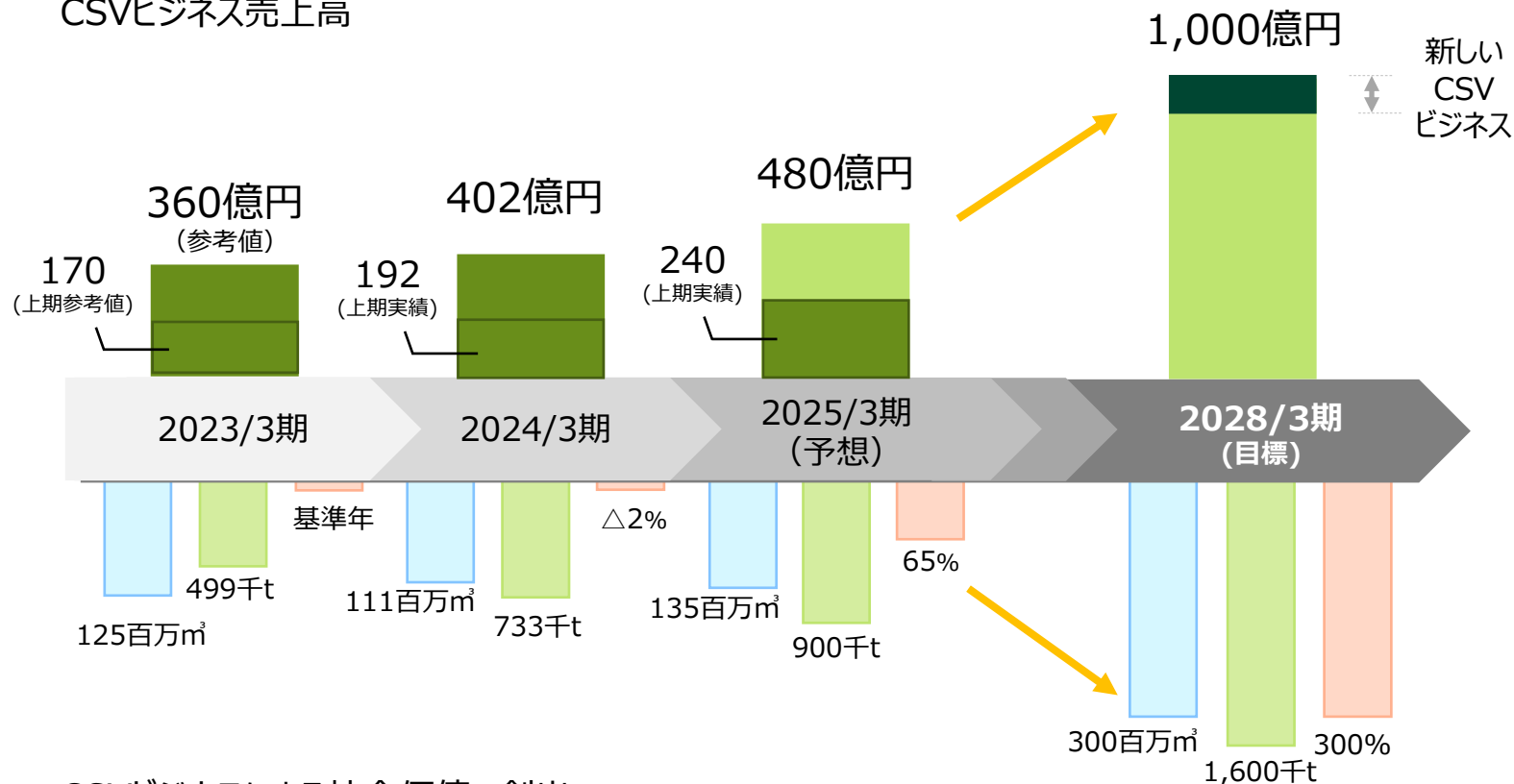


地域・市場特性に適した事業展開により、付加価値の高いモデルの展開を加速

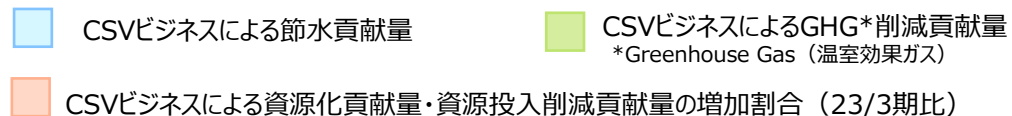


段階的な拡大と高収益性により、一般水処理セグメントの収益性向上に寄与

CSVビジネス売上高



CSVビジネスによる社会価値の創出



展開が進んでいるモデル例

RO Vitec

製品概要	RO膜薬品
社会価値	節水・GHG排出量削減
特徴	RO運転最適化サービスとの組み合わせで水回収率アップ



KURITA NAシリーズ

製品概要	冷却水向け薬品
社会価値	GHG排出量削減
特徴	スライム・スケール・腐食を防ぎ、省エネ運転やレジオネラ属菌対策にも貢献



展開加速のための体制強化

- 展開の推進役としてCSVアンバサダーをグローバルに配置
- CSVアンバサダーによる定期的なミーティングによる成功事例や課題の共有

改革により安定した基盤で提供価値の高いビジネスを展開し、収益改善をさらに加速

～2024年3月期

収益改善は着実に進捗

マネジメント改革

- 欧州での事業統合における成功事例を展開
- 事業ポートフォリオの再構築

オペレーション改革

- 製品構成の見直し
- サプライチェーンの見直しと物流システム整備

2025年3月期～

さらなる収益改善に向けて

新たな取り組み

- 脱炭素化のスペシャリストSolugen社との提携
- PFAS規制に対応するソリューション

CSVビジネスの拡大

- 米国発のCSVビジネスの拡大
- RO膜ソリューションの展開強化
- データ共通基盤を活用した地域拡大

さらなる効率化の推進

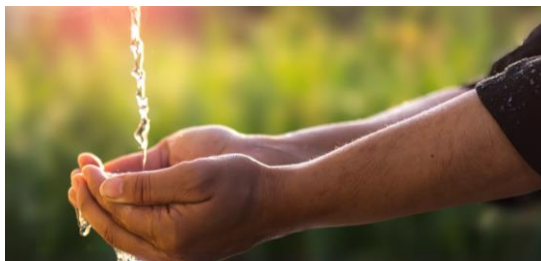
- サプライチェーンの継続的な強化
- 共通業務の集約

5月



インドに 水処理薬品販売会社を設立

経済発展と海外企業の進出を背景に産業の水処理ニーズが高まるインドで、お客様の水や環境に係る多様な課題解決をサポート



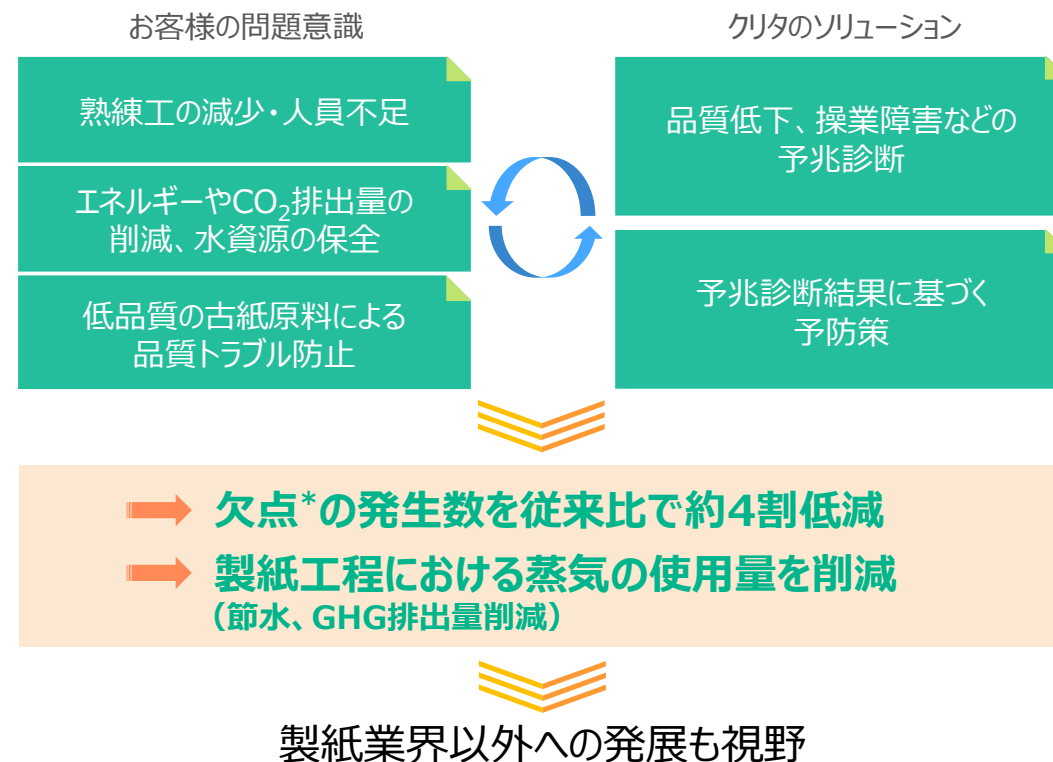
商号	Kurita AquaChemie India Private Limited
設立年月日	2024年5月3日
本社所在地	インド共和国 タミルナドゥ州チェンナイ
株主	Kurita AquaChemie Limited Kurita AquaChemie FZE
事業内容	水処理薬品の販売



9月

製紙工程向け予兆診断サービス 「Kuri-smart」の本格展開を開始

紙製品製造工程における水質等のデータから、製造品質低下や操業障害などのトラブルを事前に予測しその原因を推定



*紙を製造する際に、異物等が付着することにより、製品中に穴や斑点が生じる障害



将来見通しに関する注記事項

本資料に掲載されている見通し数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであるため、リスクや不確実性を含んでおり、実際の業績はこれと異なる可能性があります。

本資料内で使用している製品・サービス名およびロゴは、当社または他社の商標または登録商標です。